

# 御挨拶

会長 高杉 直

会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のことと御慶び申し上げます。

今年も無事に『国際商取引学会年報』第20号を公刊することとなりました。

この年報は、本学会が主催する研究大会（全国研究大会および西部・東部の地域部会）での研究報告に基づく諸原稿から成るものであり、本学会における研究の成果を示すものです。このような立派な年報が公刊できたのも、原稿の執筆者はもちろん、原稿を事前に丹念に御審査いただいた多数のレフェリー（匿名）の方々や、各原稿を年報の形に編み上げた年報編集委員会（渡邊隆彦委員長、梶田幸雄副委員長、久保田隆委員、長沼健委員）の御尽力によるものです。本学会を代表して、心より厚く御礼申し上げます。

第20回全国研究大会は、2017年11月11日・12日に一橋大学で開催されました。1日目は、「国際ビジネスの発展と仲裁制度」と題するシンポジウムを開催し、谷口安平氏、柏木昇氏、福永佳史氏、小原淳見氏、Lawrence Teh氏から御報告をいただきました。東京における国際仲裁センターの設置が見込まれている中、まことに時宜を得たテーマでした。2日目は、「ブロックチェーンの諸相（法・経済・政策）」をテーマとするミニ・シンポジウムのほか、国際商取引に関する諸問題について商学・法学・実務の視点からの個別報告を含めて計15の報告がなされました。報告者、コメンテーター、座長をはじめ、全国研究大会に御参加いただいた皆様、そして主催校である一橋大学の関係者の皆様（特に阿部博友副会長）に、心より厚く御礼申し上げます。

2018年秋の第21回全国研究大会につきましては、研究企画委員会（平野英則委員長）において企画を進めております。個別報告につきましては公募制が採られておりますので、会員の皆様におかれましては奮って応募していただきますよう御願い申し上げます。

現執行部では、学会の一層の活性化と会員数の増大を目標の1つとしております。皆様の御協力もあり、会員数も300名近くまで順調に伸びております。引き続き、本学会の趣旨に賛同していただける方への入会の勧誘を御願いたします。「入会申込書」は、学会ホームページからダウンロードできます。

なお、住所変更その他の学会宛の連絡事項等がありましたら、学会ホームページ上に記載されております宛先に御連絡をいただければ幸甚に存じます。

引き続き、会員の皆様の御支援と御協力を御願い申し上げます。